

美しいまちづくり

大平山小学校四年 三浦 美羽

わたしは、六月に藤ヶ谷清掃センターへ社会見学をしに行きました。そして、ゲームや動画で、地球温暖化のことや、ごみの分別の仕方、集められたごみのしよりのことを学びました。学校でも、ごみをへらすために地域の人々がどのようなにしているのか教わりました。そして、3Rというのも教わりました。

3Rとは、リデュース、リユース、リサイクルのことです。リデュースは、ごみのそのものをへらすことです。たとえば、レジぶくろはもらはないようにしたり、食べ残しはしないというのもそうです。リユースは、くり返し使うことです。つめかえができる商品を買ったリ、再使用できるびんなどを使うというのなどがそうです。リサイクルは、ごみを資源に変えて、ふたたび使うということです。資源物をちゃんと分別したり、生ごみをたい肥に変えるというのがそうです。

私が一番大切だと思うのが、リデュースです。なぜかというところ、リサイクルをするのも良いですが、ひようがかかります。しかも、リサイクルをしても、ごみはへらないのです。それで、私はごみそのものをなくするのが大切だと思います。ですがRは大切なことです。服など物を大切に使うと、妹や弟などにゆずることができます。トイレットペーパーは、しんのないものがあります。お店に行くと、資源ごみの回収箱があります。そのほかにもごみをなくする方法がたくさんあります。私たちに、たくさんの方ができるといいです。みんな協力すれば、必ずごみをへらすことができます。そしてこの別府、日本、世界が美しくなるように、がんばっていきます。